

平成29年度

(2017年度)

道東ドクターヘリ運航実績報告書

平成 31 年 3 月

道東ドクターヘリ運航調整委員会

目 次

I. はじめに	1
II. 出動状況	
(1) 年度別要請件数	2
(2) 市町村別 出動件数	2～
(3) 要請不応需件数（未出動）	3～
(4) 運航状況日数	4
(5) 要請機関別 出動件数	5
(6) 出動区分	6
(7) キャンセル内訳	7～
(8) 要請事由	8
III. 傷病者状況	
(1) 年齢階層	9
(2) 疾患分類	10
(3) 重症度分類	11
IV. 搬送状況	
(1) 搬送形態	12
(2) 収容病院	13
(3) 時間経過	14
V. 転帰・ドクターヘリの効果	
(1) 転帰	15
(2) ドクターヘリの効果	16～
VI. 会議等	
(1) 道東ドクターヘリ運航調整委員会 役員会	18
(2) 道東ドクターヘリ症例検討会	18
(3) 道東ドクターヘリ運航調整委員会	18
(4) 道東ドクターヘリ運航調整委員会 事後検証部会	19
VII. 参加訓練	
(1) 釧路市防災総合訓練	19

I. はじめに

ドクターヘリの目的は、単に医療機関への搬送時間の短縮を図るだけでなく、救急現場に医師と看護師を投入し、初期治療開始時間を早めて救命率を高めることである。

北海道においては、多くの議論を経て2005(平成17)年4月1日より道央圏に導入され、その後、2009(平成21)年10月より道東圏、道北圏に、さらには2015(平成27)年2月より道南圏にそれぞれ導入され、現在合計4機が配置されている。

北海道は運航範囲が広域であることや、冬期間における降雪の問題など他県にはない特徴を有している。

ドクターヘリ導入後、8年目の運航におけるドクターヘリ運航状況、転帰、効果等について分析を行い、その有効性と今後の航空救急医療体制の充実に向けた課題を明らかにすることを目的に、運航実績について道東ドクターヘリ運航調整委員会事後検証部会にて検証を行ったので報告する。

2017(平成29)年度中の道東ドクターヘリの要請件数は654件、総出動件数は415件であった。内訳は救急現場出動206件、緊急外来搬送61件、施設間搬送83件、キャンセル65件(離陸前キャンセル13件含まず)となっており、2009(平成21)年10月の運航開始以来、総出動件数は3,494件となった。

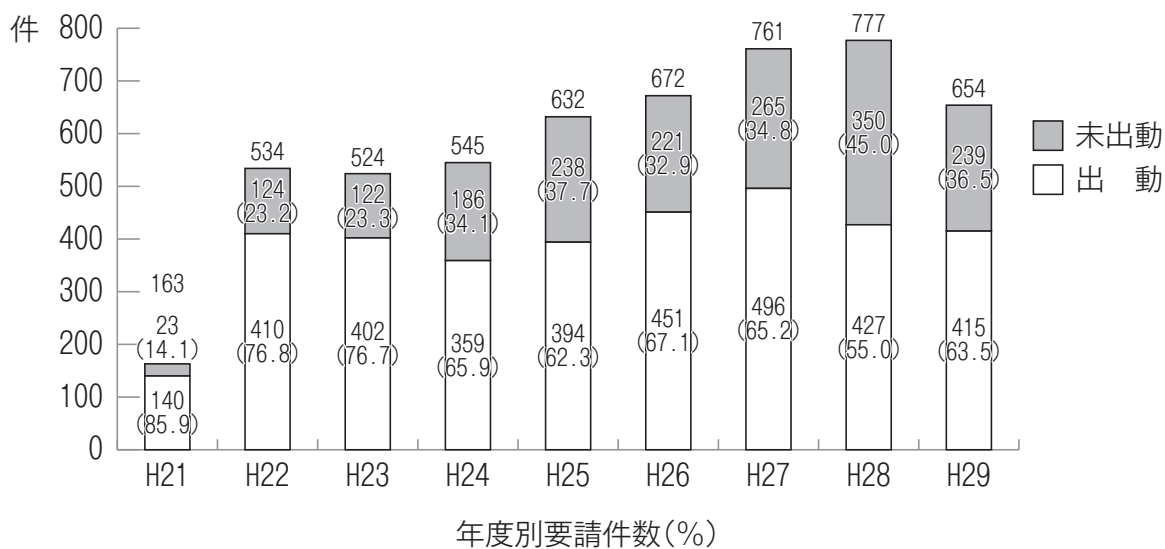
ドクターヘリが円滑な活動を行うためには、消防機関をはじめとする各関係機関との連携は不可欠であり、ドクターヘリ基地病院、管内の関係機関にて実施しているシミュレーション訓練はもとより、定期的実施している症例検討会及び事後検証部会での議論を通し、安全運航の継続を最重要課題とし、今後も関係各機関との緊密な連携を保持しながら活動を続けていきたいと考えている。

8年間の出動で大きな事故もなく運航を実現できたことは、スタッフの高い安全管理意識と消防機関をはじめとする関係各機関の熱意あるご支援があつて成り立っているものであり、深く感謝を申し上げたい。

また、道東ドクターヘリ事業は、この地域に欠かせない救急医療のインフラであり、今後も地域の皆様のご支援、ご協力のもと事業の発展と継続をさせていきたいと考えている。

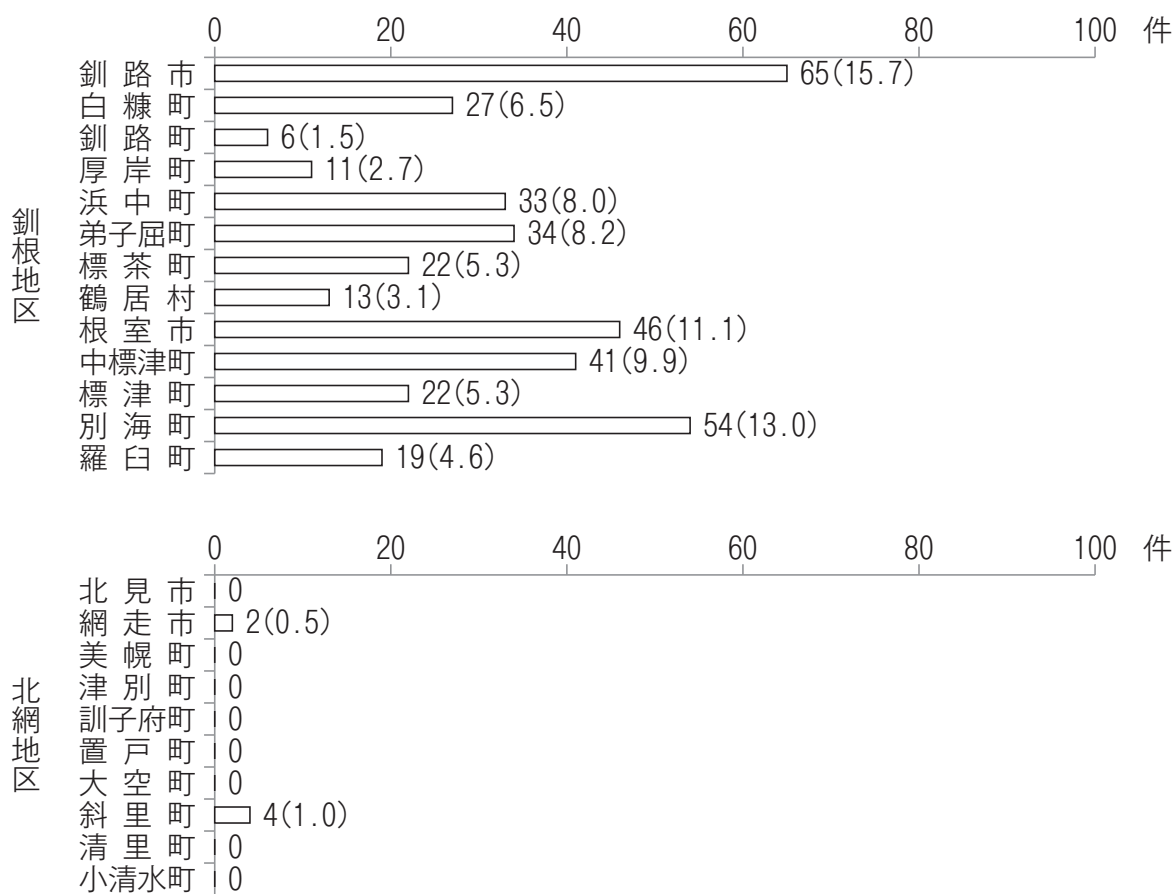
Ⅱ. 出動状況

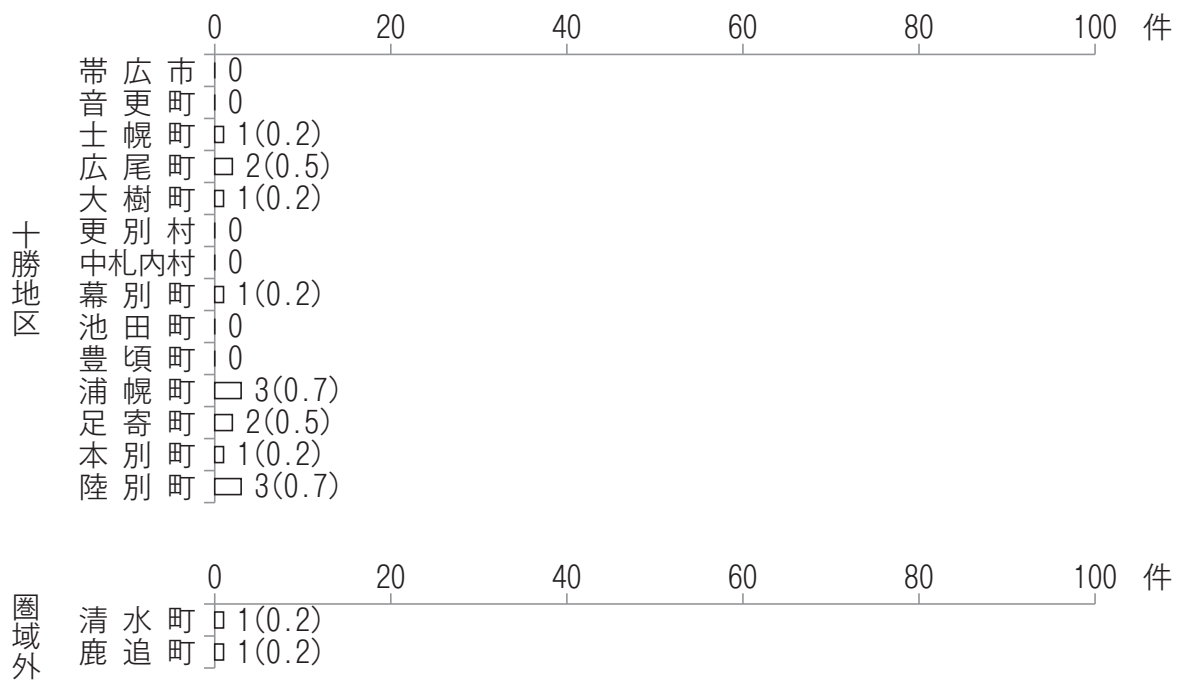
(1) 年度別要請件数



※ドクターヘリ導入促進事業による運航は、平成21年10月より開始。

(2) 市町村別 出動件数





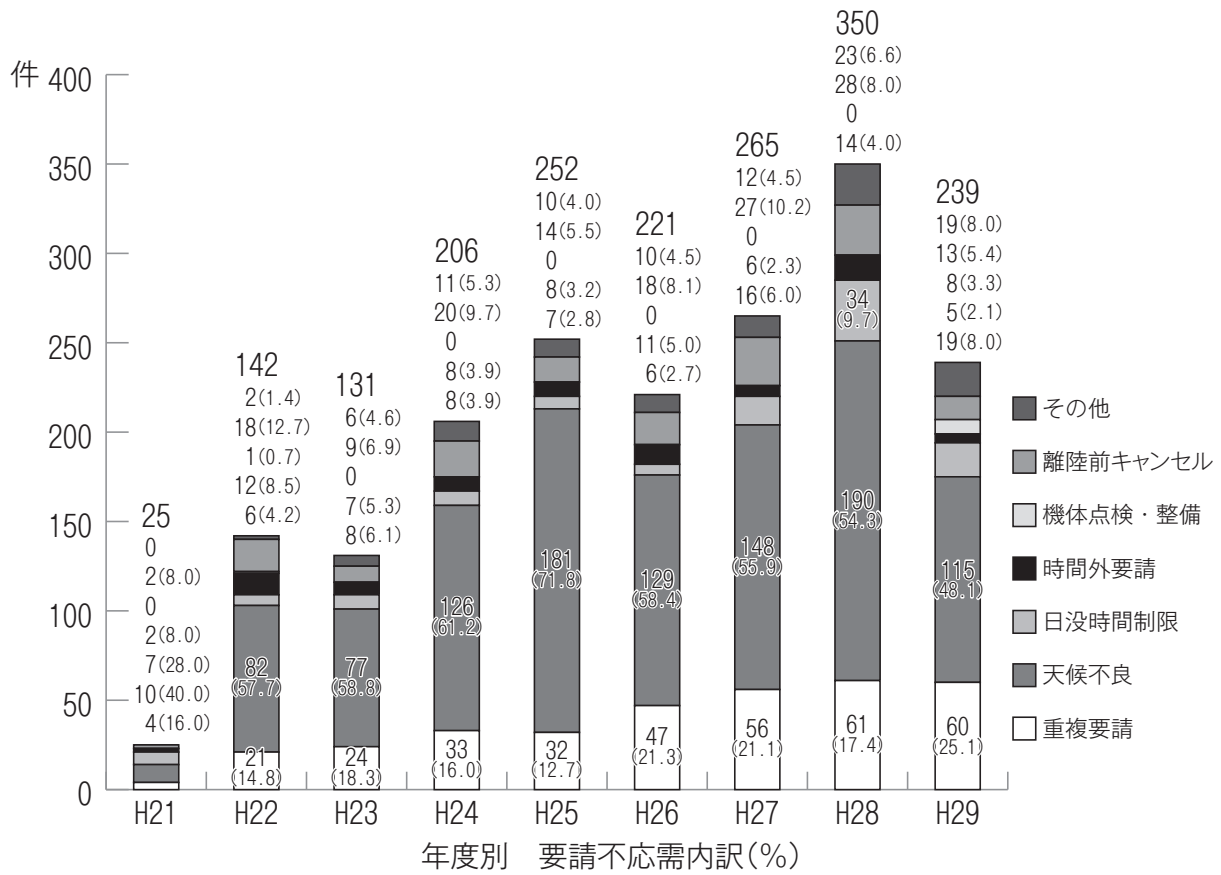
平成29年度 市町村別 出動件数(%)

※清水町、鹿追町は道北ドクターヘリの出動圏域となります。

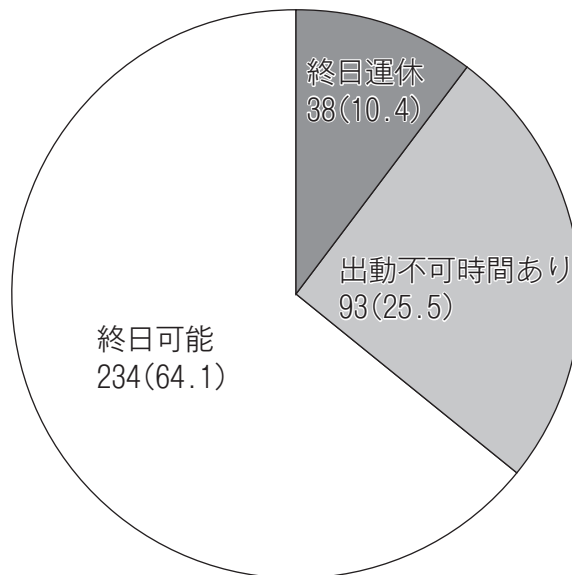
(3) 要請不応需件数 (未出動)

釧路市消防本部	49	239
釧路東部消防組合消防本部	26	
釧路北部消防事務組合消防本部	29	
根室市消防本部	35	
根室北部消防事務組合消防本部	75	
北見地区消防組合消防本部	4	
網走地区消防組合消防本部	0	
美幌・津別広域事務組合消防本部	0	
斜里地区消防組合消防本部	4	
とかち広域消防局	17	

平成29年度 要請不応需 (要請機関別)



(4) 運航状況日数



日数内訳

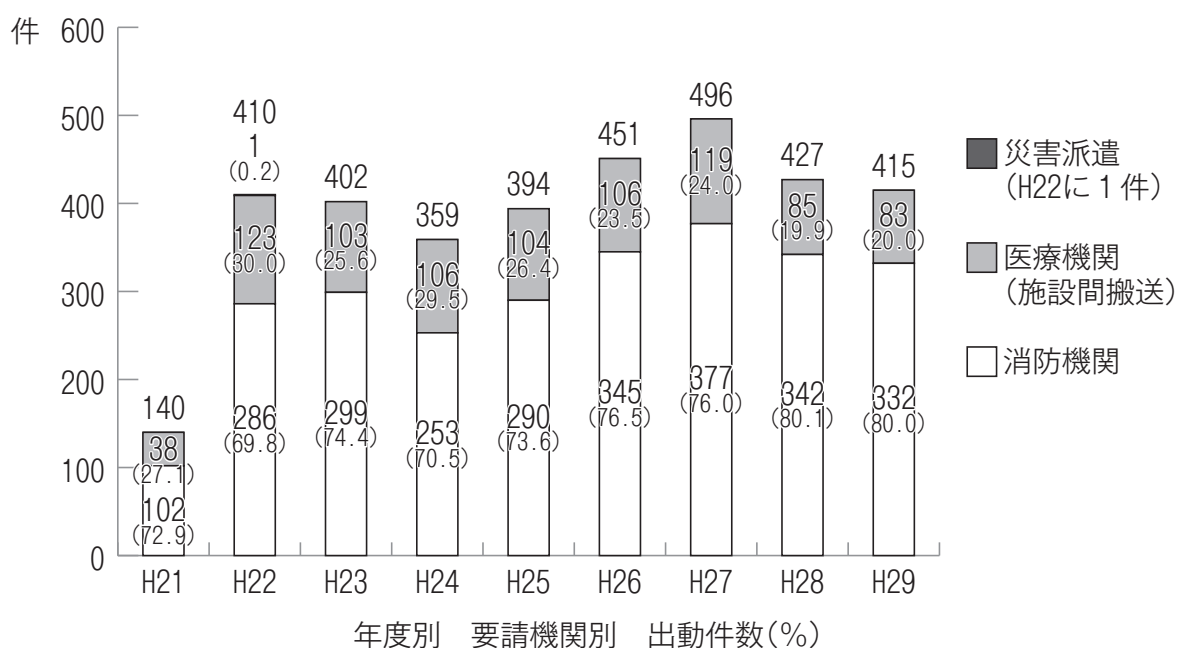
	天候不良	機体不良	スタッフ体調不良	計
出動不可時間あり	89	3	1	93
終日運休	37	1	0	38
計	126	4	1	131

平成29年度 運航状況日数 (%)

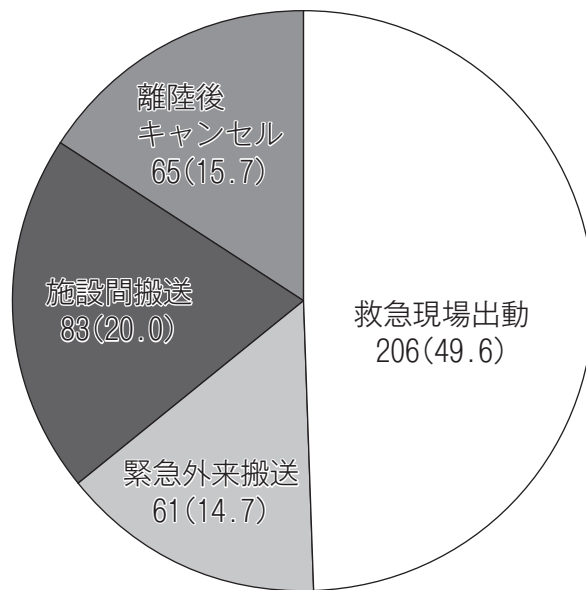
(5) 要請機関別 出動件数

医療機関 (施設間搬送)	市立釧路総合病院	1	83 (20.0)
	釧路孝仁会記念病院	1	
	市立釧路国民健康保険阿寒診療所	1	
	町立厚岸病院	1	
	浜中町立浜中診療所	1	
	摩周厚生病院	11	
	布施医院	1	
	標茶町立病院	1	
	市立根室病院	25	
	町立中標津病院	17	
	中標津脳神経外科	2	
	標津町国民健康保険標津病院	10	
	町立別海病院	6	
	西春別駅前診療所	1	
	知床らうす国民健康保険診療所	3	
	網走脳神経外科	1	
消防機関	釧路市消防本部	89	332 (80.0)
	釧路東部消防組合消防本部	48	
	釧路北部消防事務組合消防本部	56	
	根室市消防本部	21	
	根室北部消防事務組合消防本部	97	
	北見地区消防組合消防本部	0	
	網走地区消防組合消防本部	1	
	美幌・津別広域事務組合消防本部	0	
	斜里地区消防組合消防本部	4	
	とかち広域消防局	16	
		415	

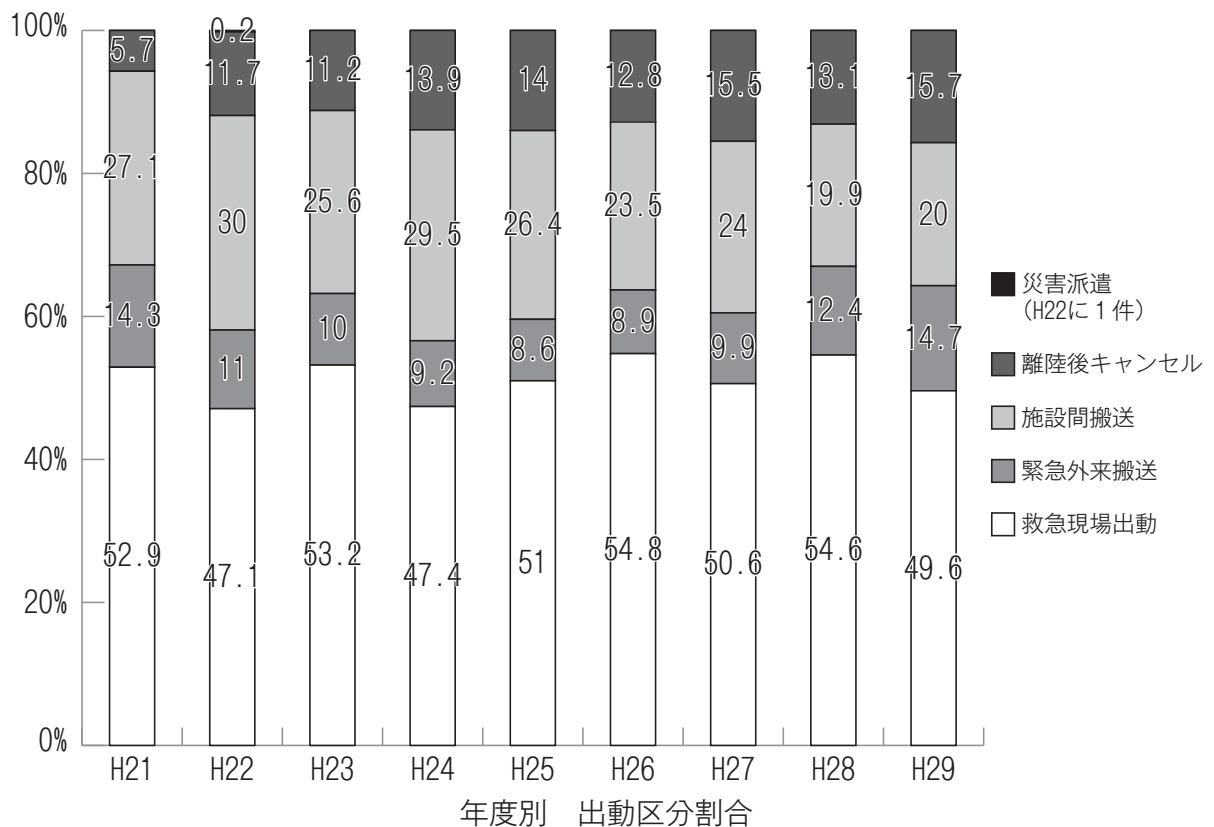
平成29年度 要請機関別 出動件数(%)



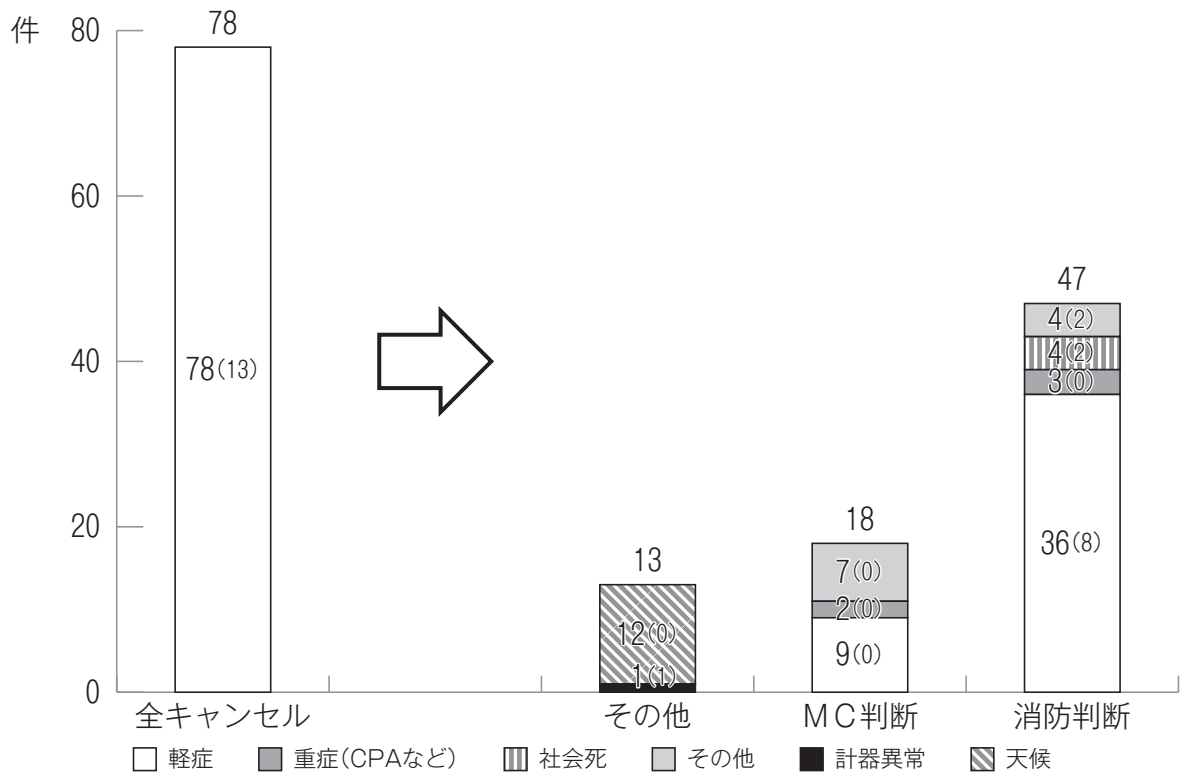
(6) 出動区分



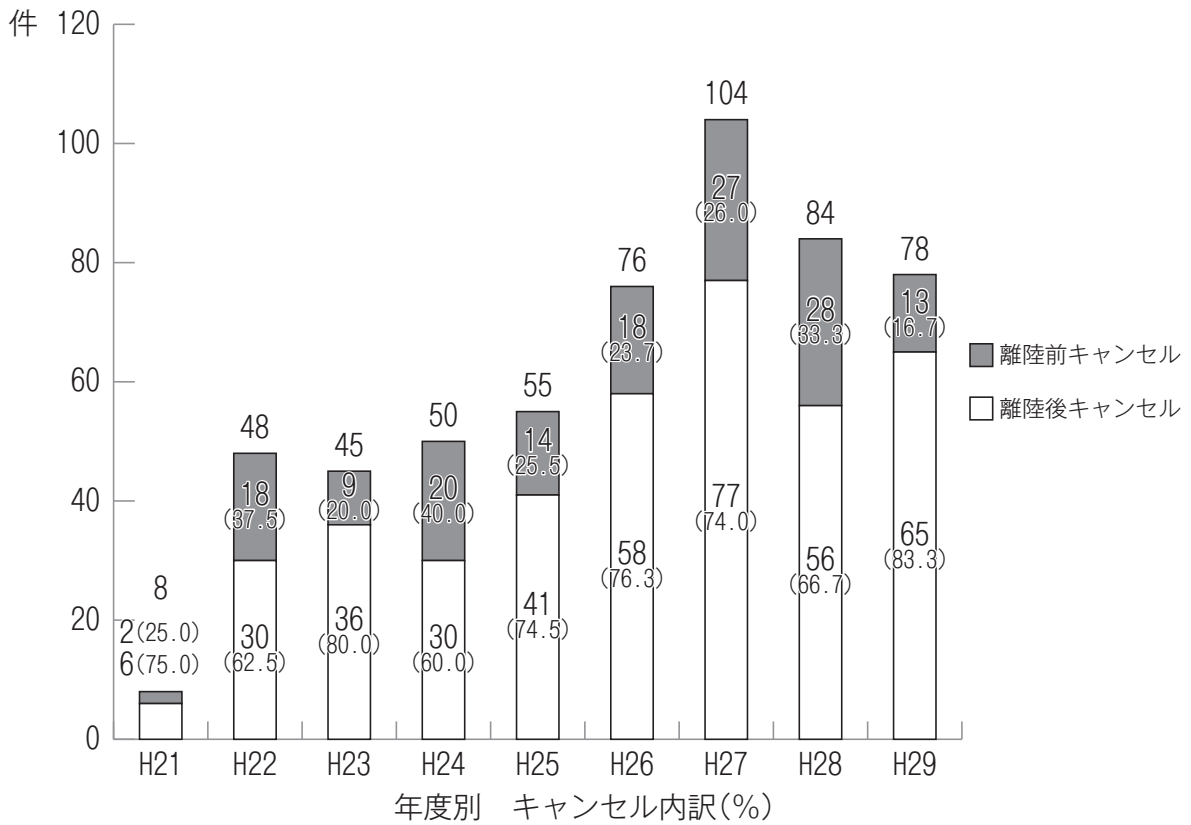
平成29年度 出動区分(%)

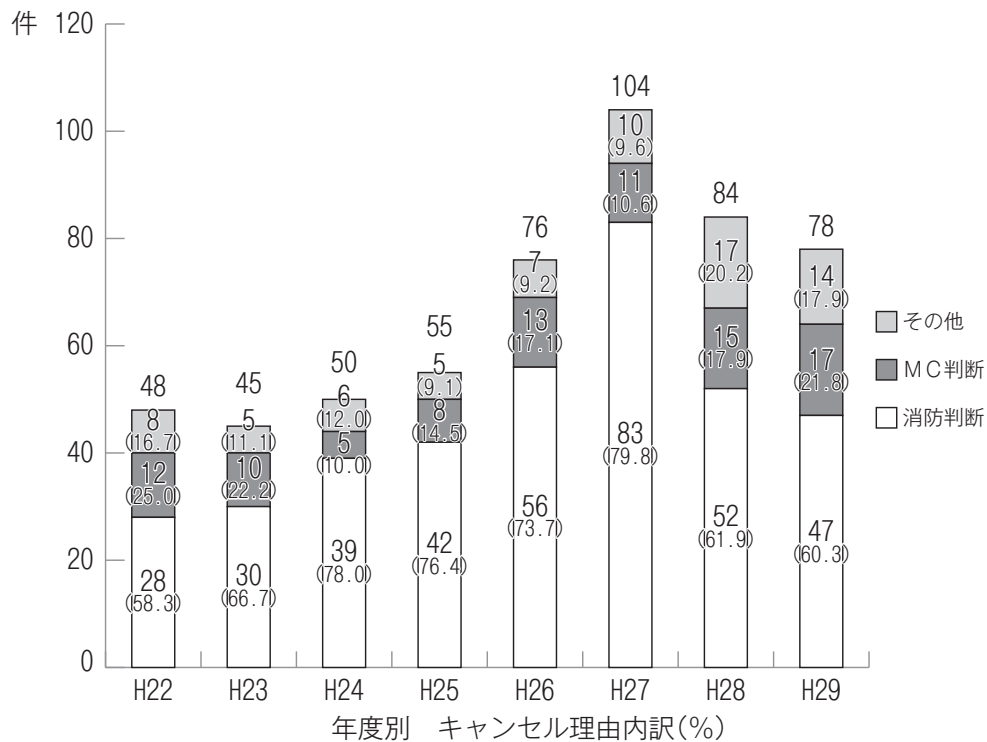


(7) キャンセル内訳



平成29年度 キャンセル理由(内離陸前キャンセル数)



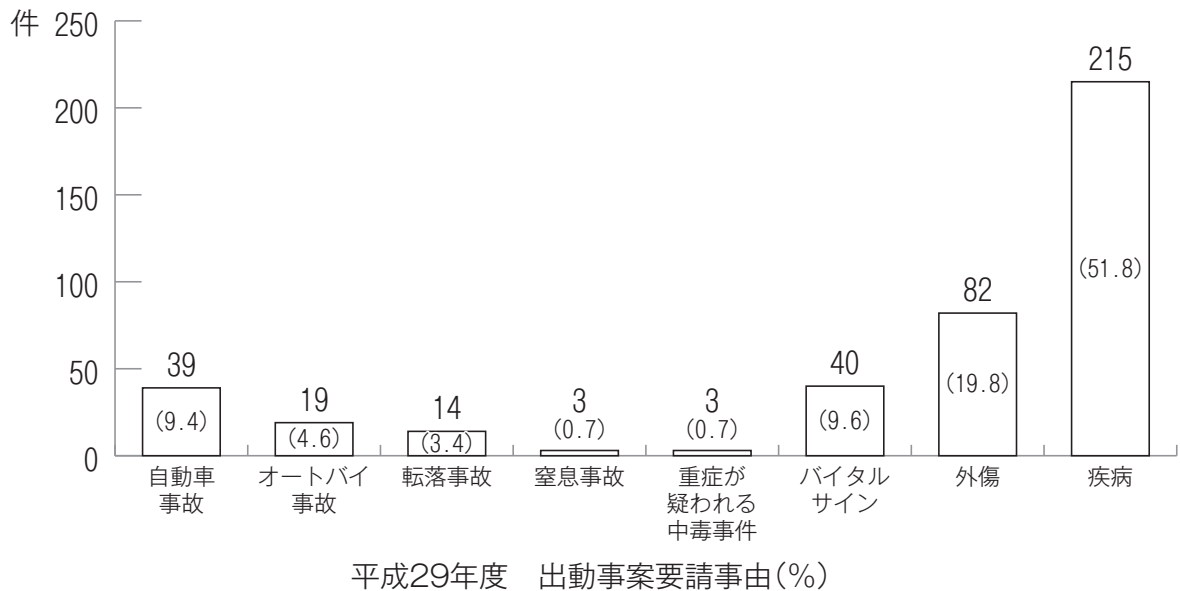


【用語解説】

消防判断 : 現着した救急隊など、消防機関による判断。

MC判断 : メディカルコントロール(Medical Control)による判断。

(8) 要請事由



【用語解説】

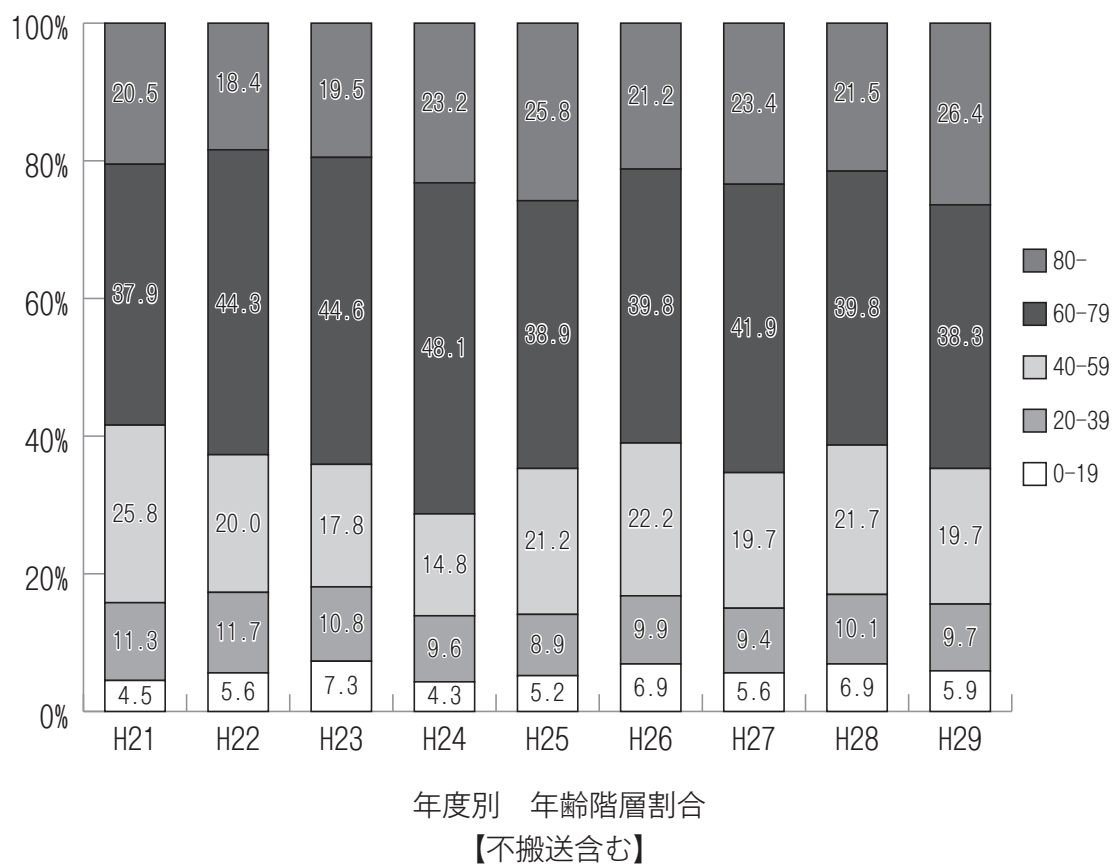
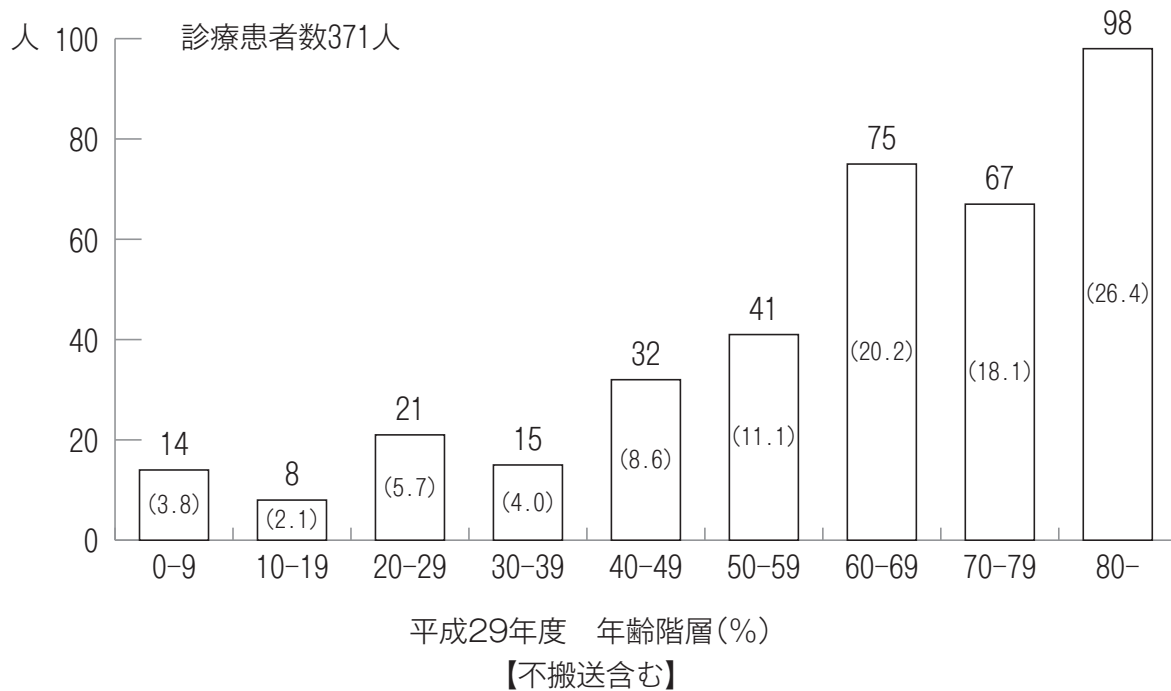
バイタルサイン : 脈拍が弱く、かすかにしか触れない、全く脈がないこと。

: 呼吸が弱くて止まりそうであること、遠く浅い呼吸をしていること、呼吸停止。

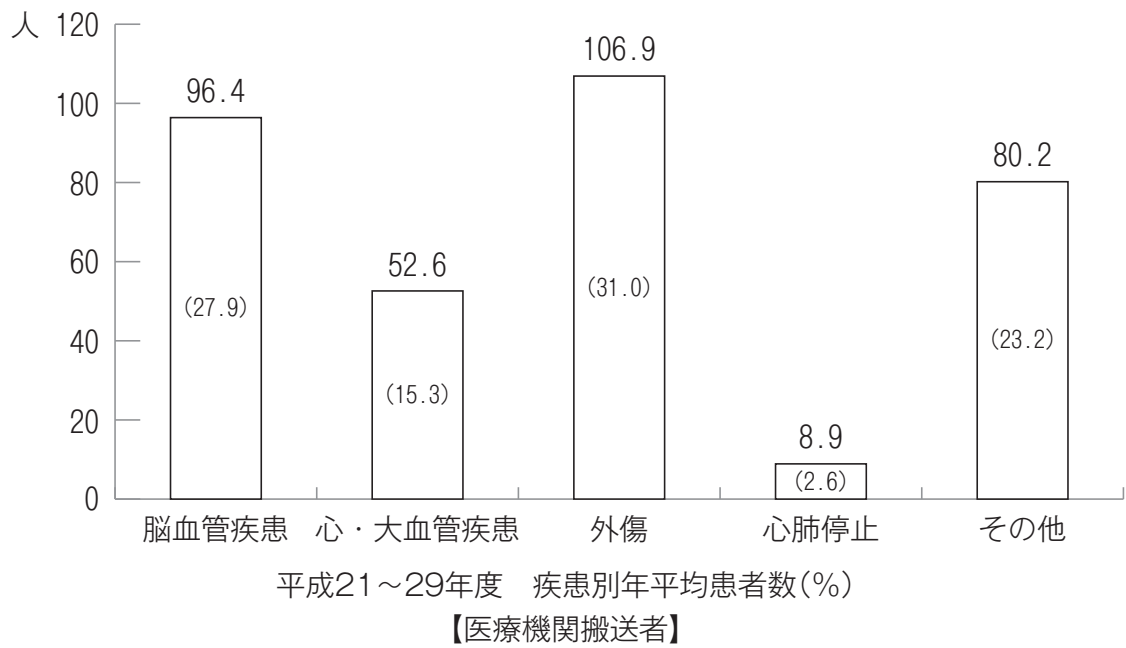
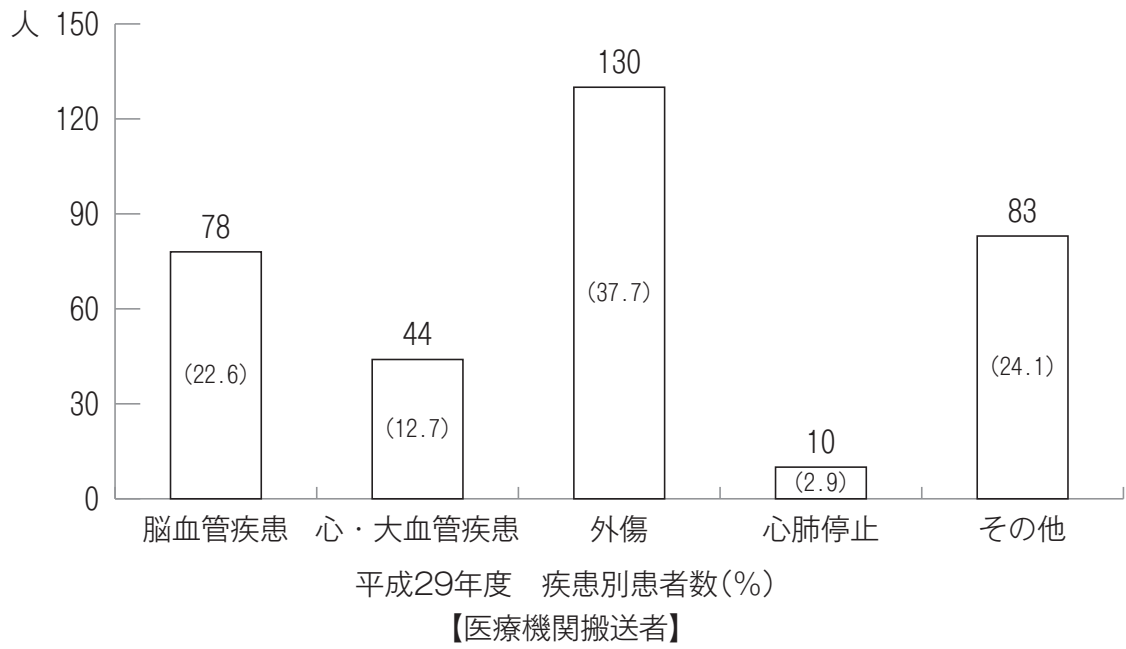
: 呼吸障害、呼吸がだんだん苦しくなってきたこと。

Ⅲ. 傷病者状況

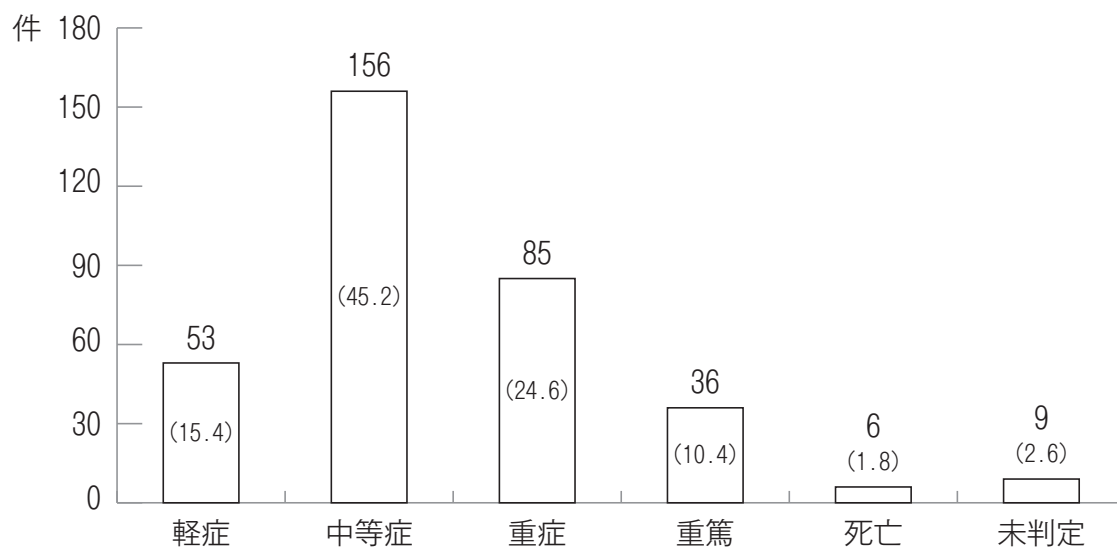
(1) 年齢階層



(2) 疾患分類

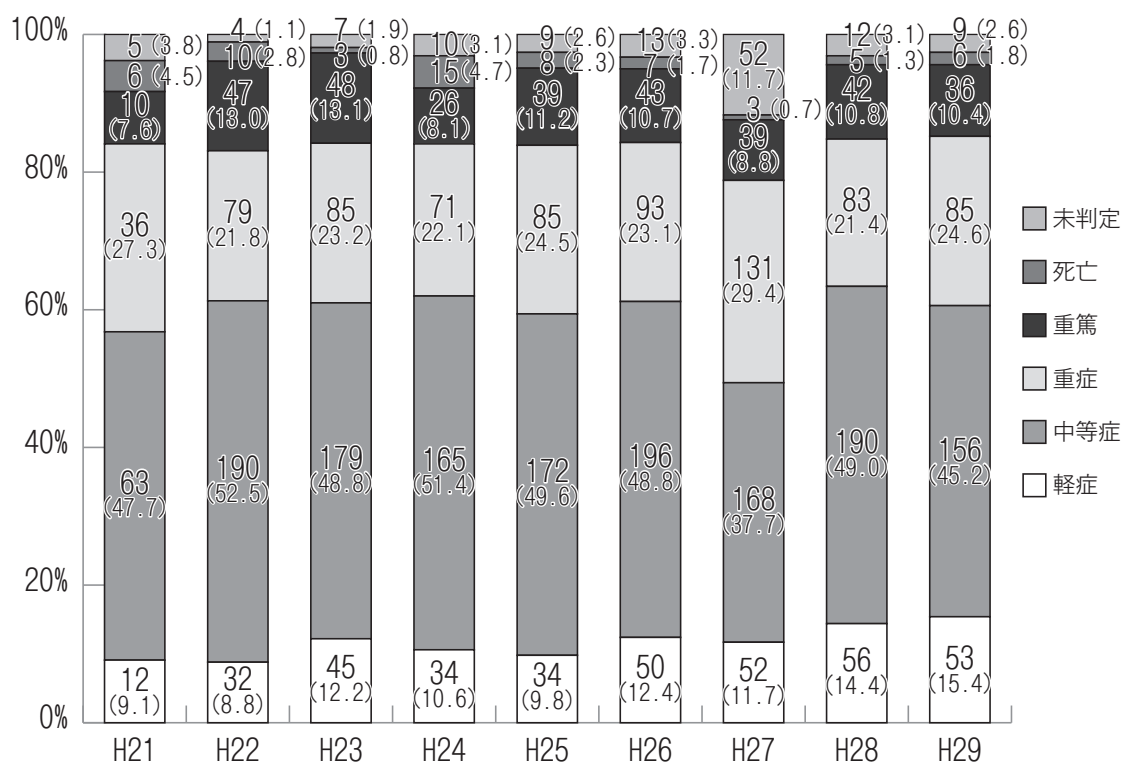


(3) 重症度分類



平成29年度 重症度分類別件数(%)

【医療機関搬送者】



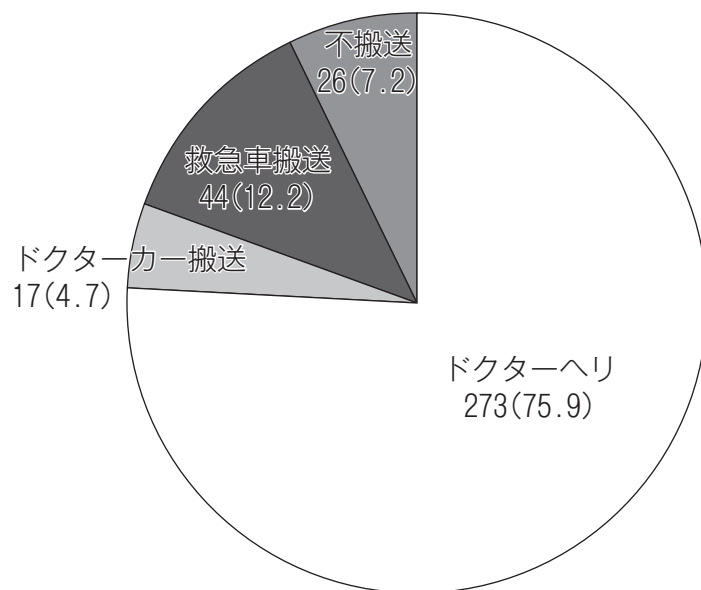
年度別 重症度分類別患者数(%)

【医療機関搬送者】

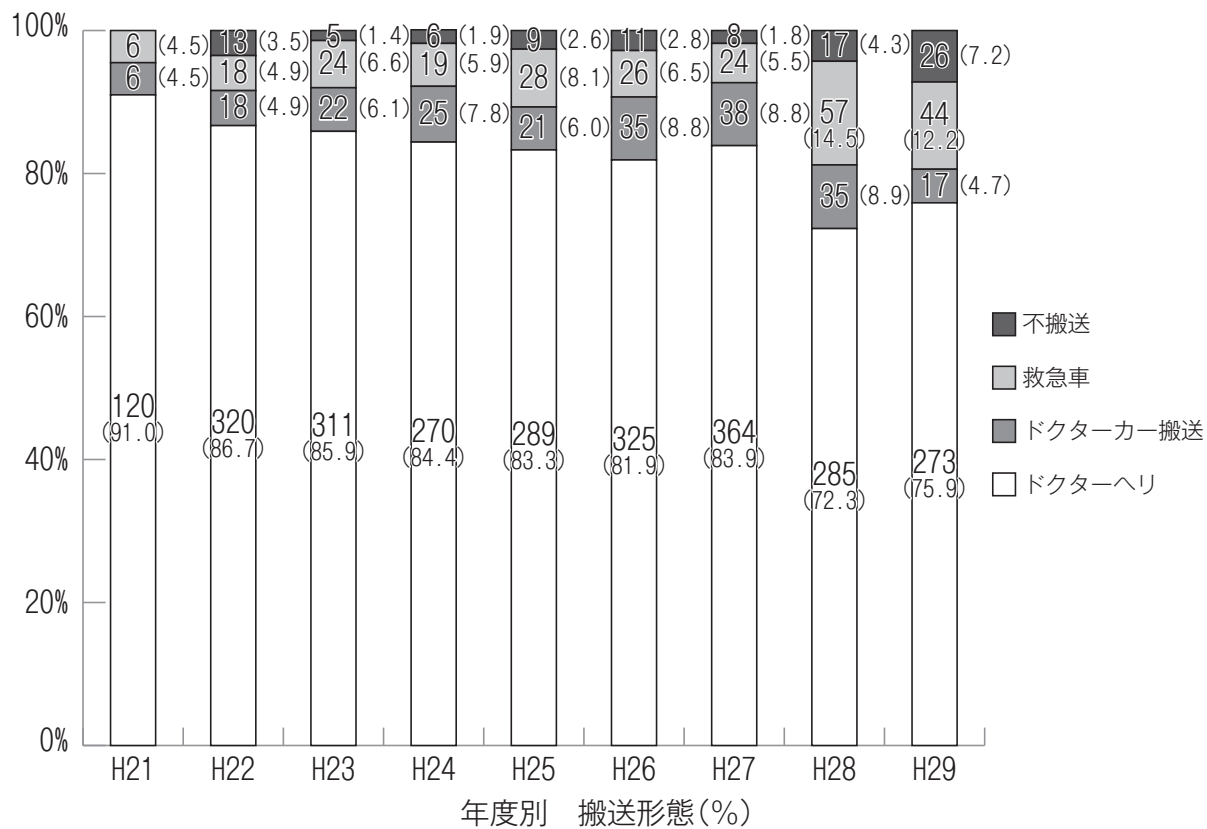
- 【軽症】 = 入院を要しないもの。
- 【中等症】 = 生命の危険はないが入院を要するもの。
- 【重症】 = 生命の危険の可能性のあるもの。
- 【重篤】 = 生命の危険が切迫しているもの。
- 【死亡】 = 初診時死亡が確認されたもの。

IV. 搬送状況

(1) 搬送形態



平成29年度 搬送形態 (%)



(2) 収容病院

釧根地区	傷病者数
市立釧路総合病院	171
釧路孝仁会記念病院	98
釧路ろうさい病院	29
釧路赤十字病院	8
釧路協立病院	1
釧路三慈会病院	2
星が浦病院	1
市立釧路国民健康保険阿寒診療所	1
摩周厚生病院	2
標茶町立病院	1
町立厚岸病院	2
町立中標津病院	4
標津町国民健康保険標津病院	2
町立別海病院	7
計	329

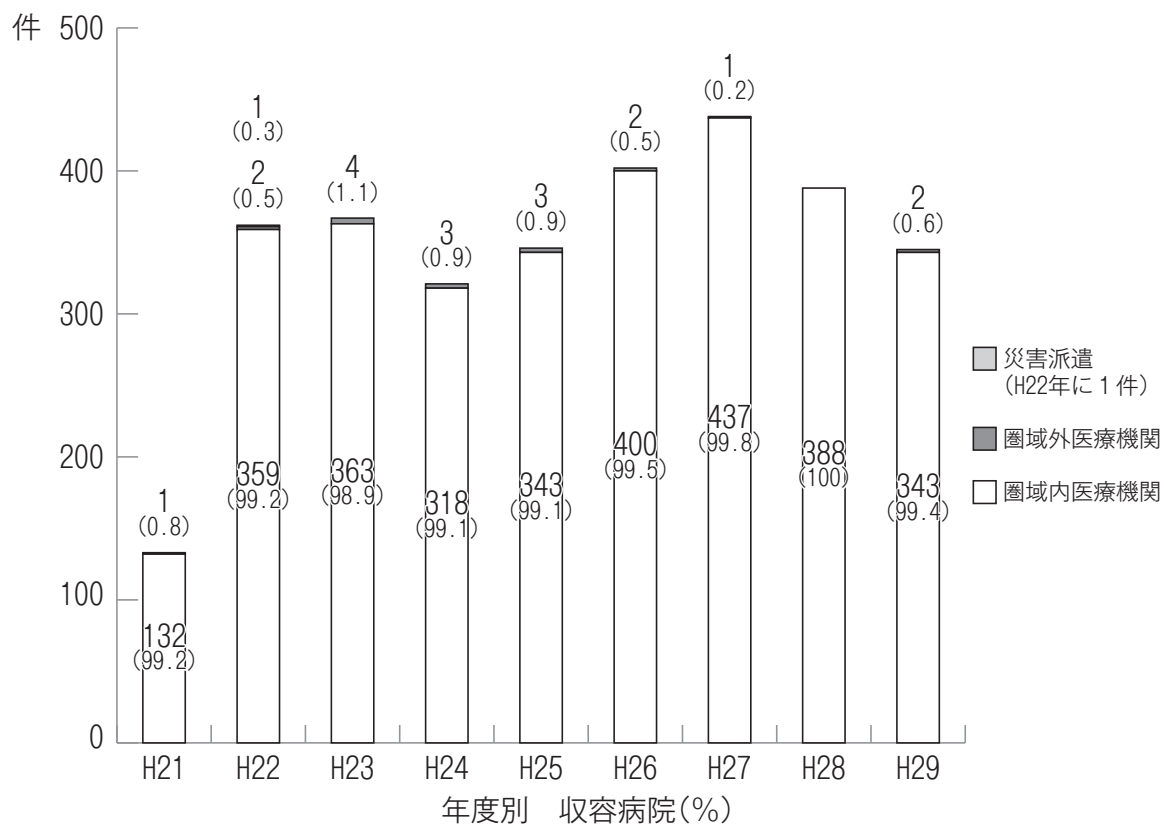
北網地区	傷病者数
北見赤十字病院	3
小清水赤十字病院	1
計	4

十勝地区	傷病者数
帯広厚生病院	7
大樹町立国民健康保険病院	1
足寄町国民健康保険病院	2
計	10

圏域外	傷病者数
札幌医科大学	1
旭川医科大学	1
計	2

合計	345
----	-----

平成29年度 収容病院

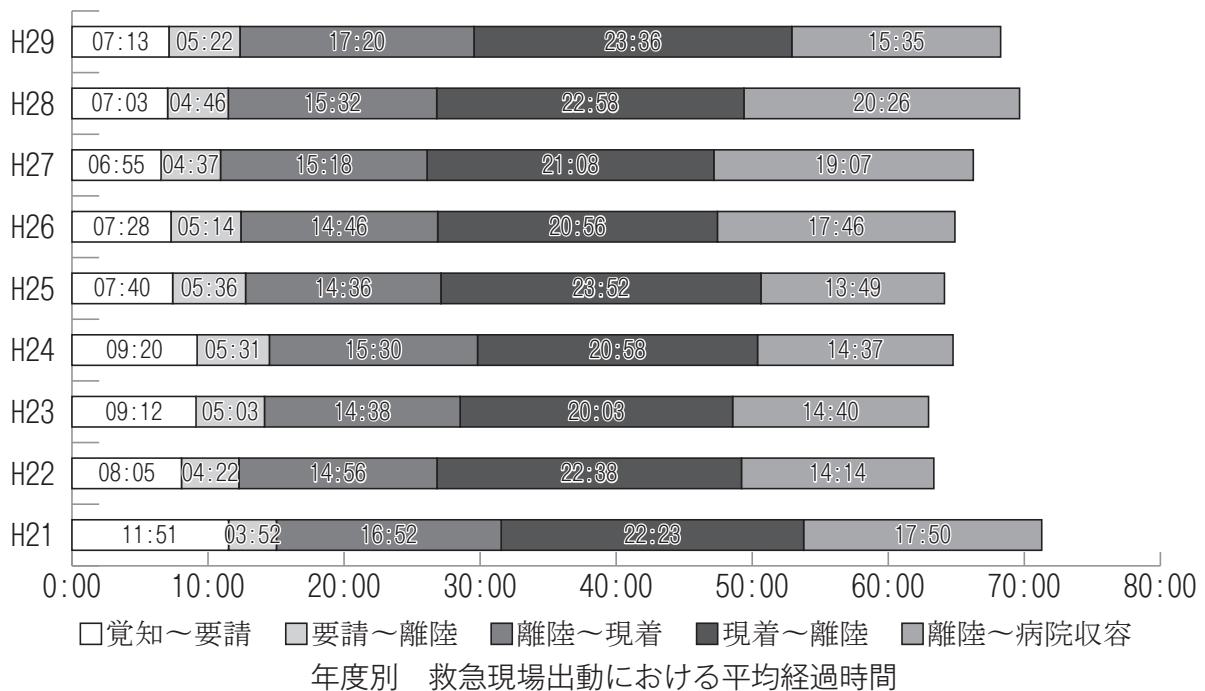


(3) 時間経過

区 分	全期間		(夏 期)		(冬 期)	
	時間	(±標準偏差)	時間	(±標準偏差)	時間	(±標準偏差)
消防覚知～ ドクターヘリ要請 n=206 (*1)	07分13秒	(±07分37秒)	06分42秒	(±06分46秒)	08分12秒	(±08分54秒)
ドクターヘリ要請～ 基地・基幹連携病院離陸 n=171 (*2)	05分22秒	(±02分19秒)	05分21秒	(±02分11秒)	05分39秒	(±02分01秒)
基地・基幹連携病院離陸 ～現場着陸 n=171 (*3)	17分20秒	(±07分55秒)	17分37秒	(±08分21秒)	16分47秒	(±06分57秒)
現場着陸～ 現場離陸 n=123 (*4)	23分36秒	(±09分42秒)	23分00秒	(±10分16秒)	24分49秒	(±08分19秒)
現場離陸～ 医療機関収容 n=123 (*4)	15分35秒	(±08分26秒)	15分26秒	(±08分28秒)	15分51秒	(±08分21秒)
消防覚知～ 医師接触 n=171 (*5)	33分34秒	(±11分45秒)	33分23秒	(±12分04秒)	33分59秒	(±10分59秒)
消防覚知～ 医療機関収容 n=123 (*6)	75分08秒	(±18分20秒)	74分06秒	(±12分05秒)	77分11秒	(±16分45秒)

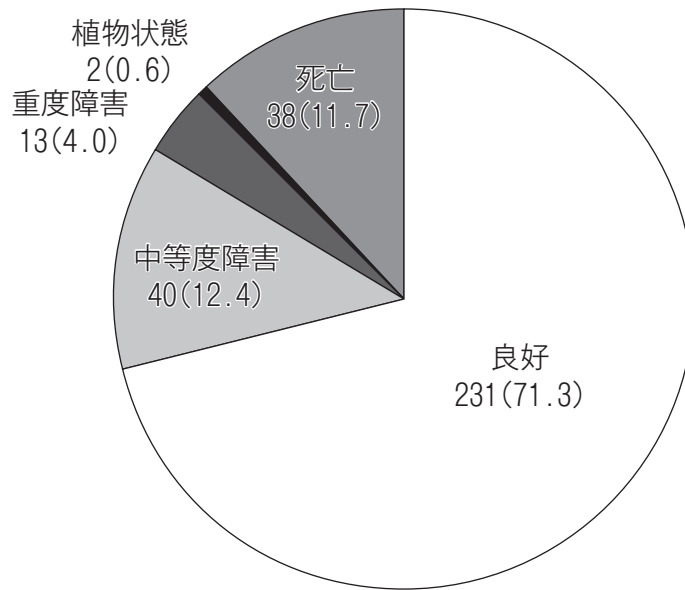
平成29年度 救急現場出動における平均時間経過 (標準偏差)

- *1: 消防機関の覚知とドクターヘリ要請時間が明確な事例206件 (夏期134件、冬期72件)
- *2: 上記*1の事例206件のうち通常の出動待機状態から対応した事例171件 (夏期113件、冬期58件)
- *3: 上記*2の事例171件のうち、現場到着時間が明確な事例171件 (夏期113件、冬期58件)
- *4: 上記*3の事例171件のうち、現場離陸時間が明確な事例からドクターヘリにより搬送された事例123件 (夏期81件、冬期42件)
- *5: 上記*2から医師接触時間が明確な事例171件 (夏期113件、冬期58件)
- *6: 消防覚知から医療機関収容までのデータが明確かつドクターヘリにより搬送された事例123件 (夏期81件、冬期42件)

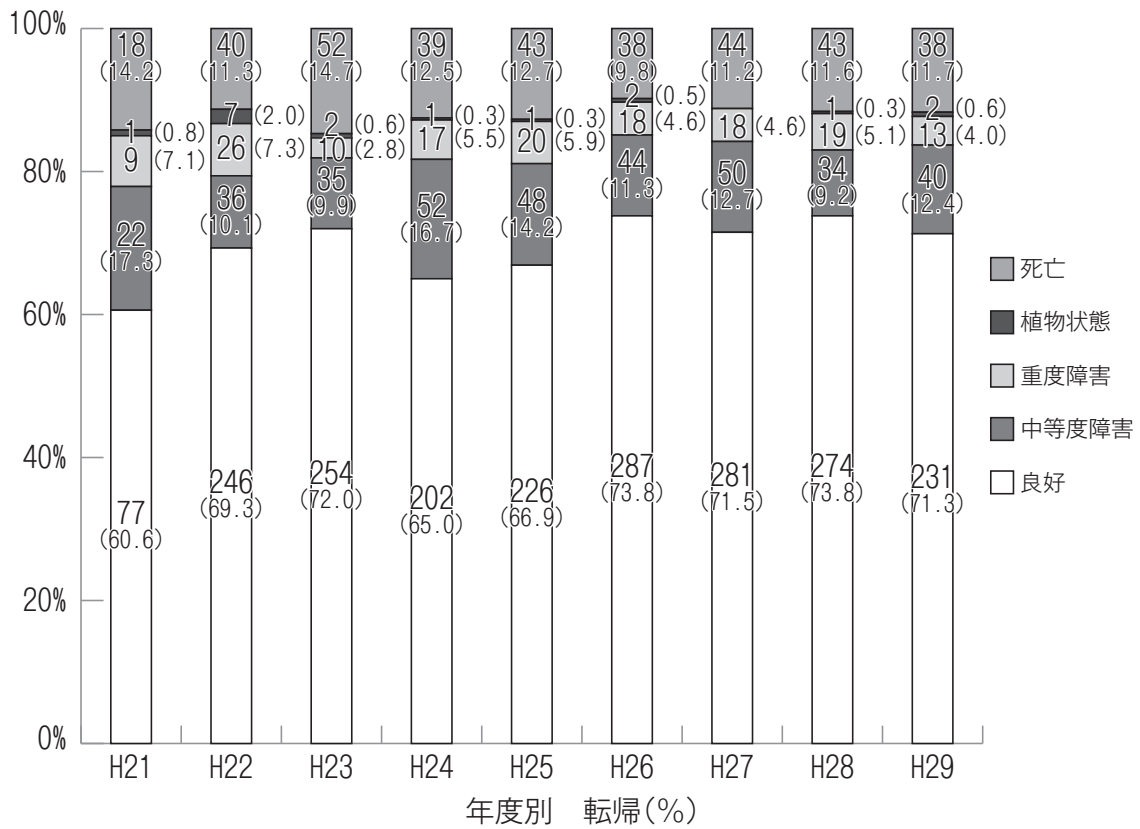


V. 転帰・ドクターヘリの効果

(1) 転帰

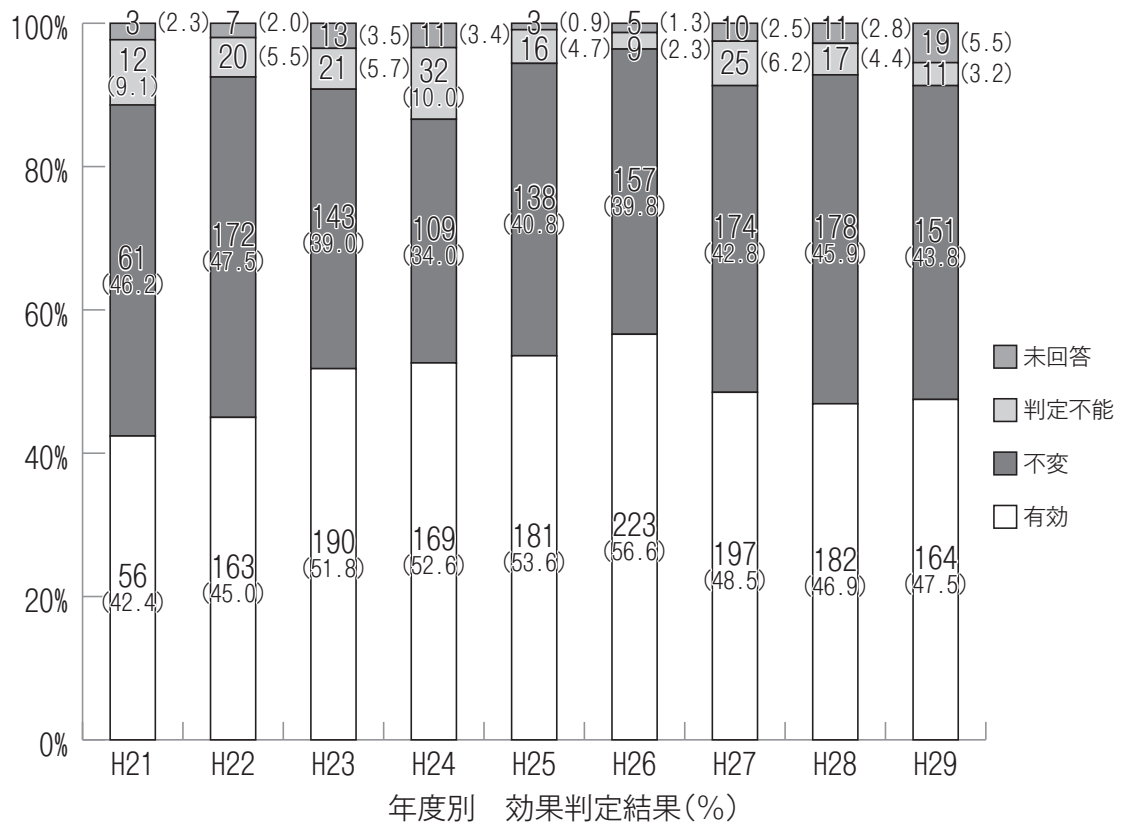
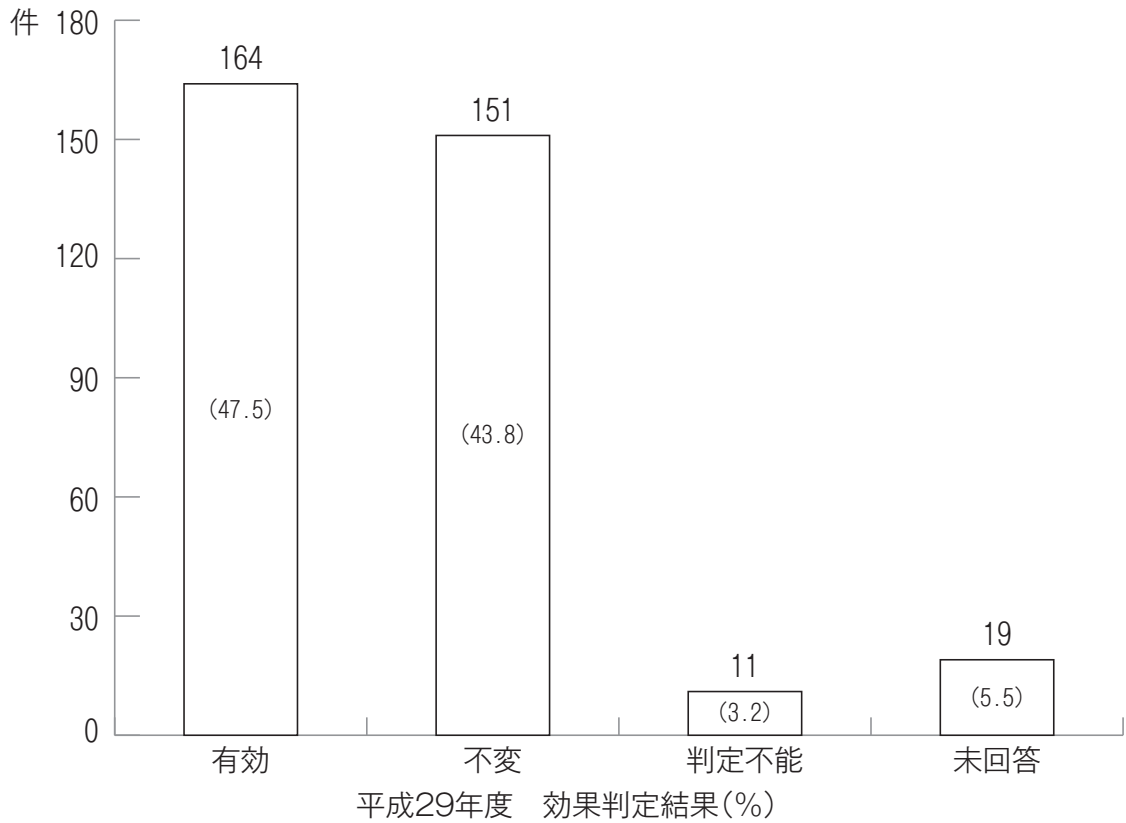


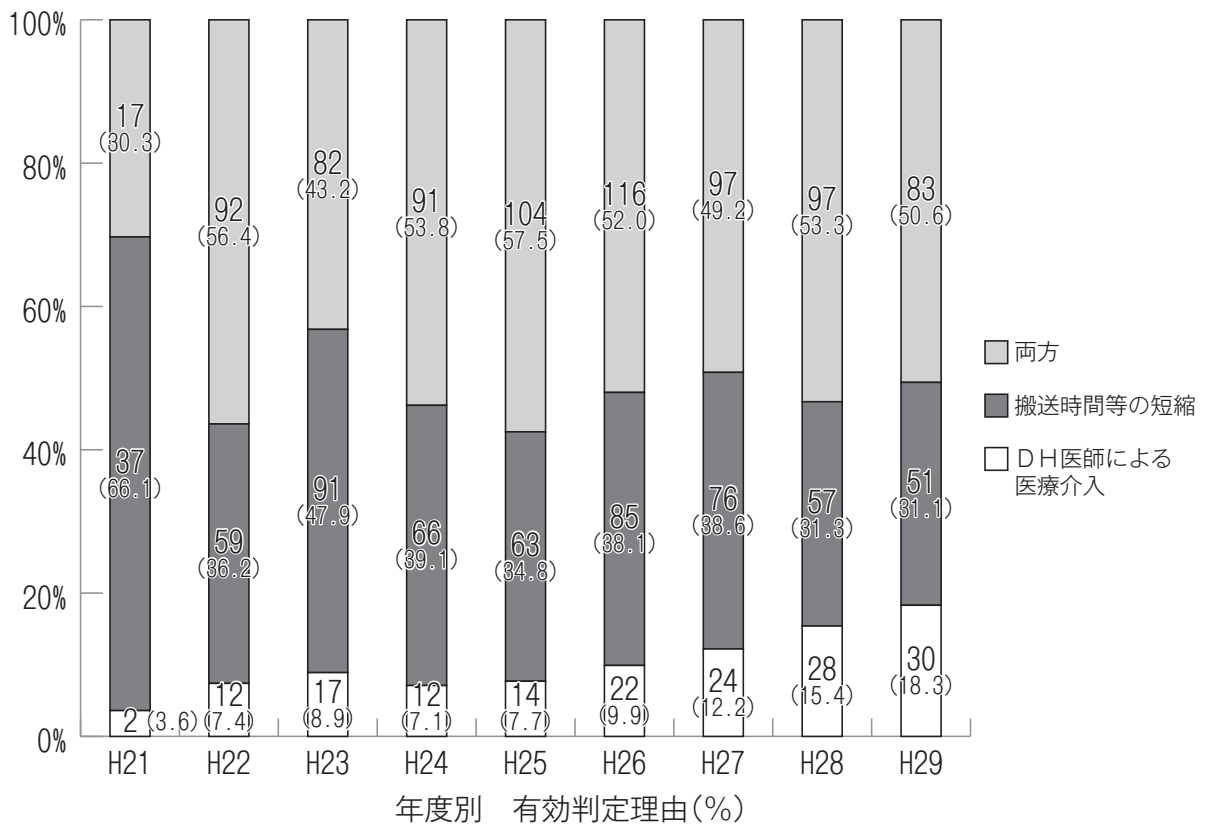
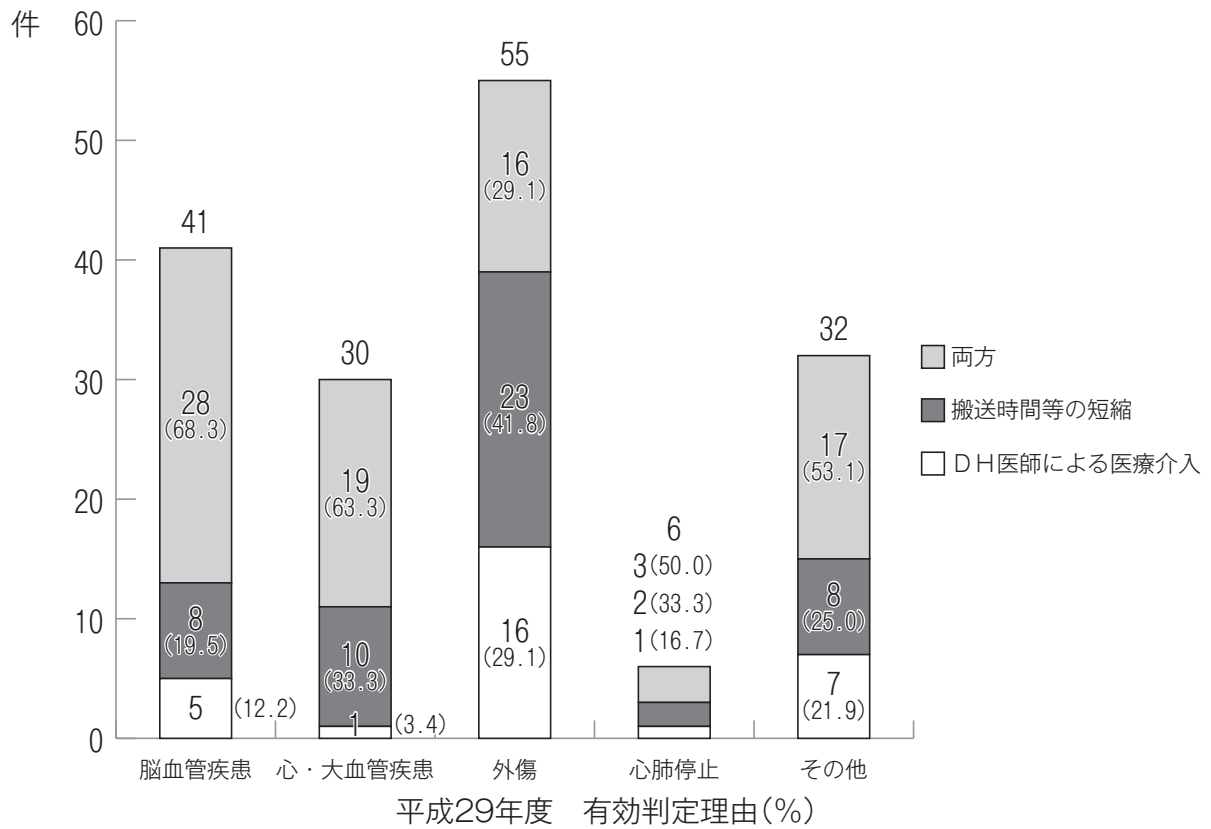
平成29年度 転帰 (%)



(2) ドクターヘリの効果

※ドクターヘリによる効果判定につきましては、医学的根拠に基づき外部医師に判定していただいております。





VI. 会議等

(1) 平成29年度 道東ドクターヘリ運航調整委員会 役員会

開催場所：市立釧路総合病院2階会議室
 開催日時：平成29年5月17日 18:00～
 年間開催回数：1回
 出席者：道東ドクターヘリ運航調整委員会役員等 9名

(2) 平成29年度 道東ドクターヘリ症例検討会

開催場所：釧路市生涯学習センター「まなぼっと幣舞」2階 多目的ホール
 開催時間：18:30～
 年間開催回数：3回
 年間事例検討数：13件

開催日	発表症例数	出席者数
第1回 平成29年5月26日	5	医師 5 看護師 6 消防関係 50 病院関係 4 運航会社 5 その他 5
第2回 平成29年10月6日	4	医師 6 看護師 13 消防関係 51 病院関係 3 運航会社 4 その他 4
第3回 平成30年2月2日	4	医師 8 看護師 12 消防関係 79 病院関係 4 運航会社 4 その他 3

(3) 平成29年度 道東ドクターヘリ運航調整委員会

開催場所：釧路市観光国際交流センター
 開催日時：平成29年7月19日 18:00～
 年間開催回数：1回
 出席者：道東ドクターヘリ運航調整委員会の委員等 48名

(4) 平成29年度 道東ドクターヘリ運航調整委員会 事後検証部会

開催場所 : 釧路市生涯学習センター 8階801号室

開催日時 : 平成30年1月18日 18:00~

年間開催回数 : 1回

出席者 : 道東ドクターヘリ運航調整委員会事後検証部会委員 11名

Ⅶ. 参加訓練

(1) 釧路市防災総合訓練

訓練会場 : 釧路市東港区耐震旅客ターミナル

実施日時 : 平成29年7月12日 13:00~16:00

参加者 : 搭乗医師 1名、搭乗看護師 1名、
機長 1名、整備士 1名



***E*ast hokkaido**
***A*ir ambulance for**
***S*hock and**
***T*rauma**

平成29年度 道東ドクターヘリ運航実績報告書

平成31年3月発行

編集 道東ドクターヘリ運航調整委員会
印刷 藤田印刷株式会社



Doctor Heli

大切な命を救うために

To save the life